



抗菌性能

家庭において食中毒の原因となる、黄色ブドウ球菌などの細菌の増殖を抑えます。

《試験結果》

菌種	試料	開始時	24時間後
黄色ブドウ球菌	抗菌性能無加工品		
	抗菌性能加工品(クッションフロア)		

※試験結果は実測値であり、保証値ではありません。
試験番号:12019300-1 発効日:2012年8月24日
(一財)ポーケン品質評価機構による

《試験方法》

抗菌性試験 JIS Z 2801 (フィルム密着法)

試料に菌液を滴下し、フィルムを被せた後35°Cで24時間保存後の生菌数を測定する。

抗菌活性値は、無加工品と同様の試験を行い、下記の式に従って算出する。

抗菌活性値が2.0以上であれば、抗菌性能があることを示す。

$$\text{抗菌活性値} = \log A - \log B$$

A: 無加工試験片の24時間後の生菌数(個)

B: 抗菌試験片の24時間後の生菌数(個)

リリカラのクッションフロアは抗菌活性値 2.0 以上を満たしています。



防カビ性能

家庭において食品の腐敗などの原因となるカビの生育を防止します。

《試験結果》



※試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

試験番号:12019300-2 発効日:2012年9月7日 (一財)ポーケン品質評価機構による

リリカラのクッションフロアは、評価基準 1 以下を満たしています。

《試験方法》

カビ抵抗性試験 JIS Z 2911 (試験方法A)

無機塩寒天培地上に試料を貼付し、カビ混合孢子懸濁液を噴霧する。29°C、相対湿度95%以上で28日間培養し、試料上のカビの生育を観察した。

評価基準

0	肉眼及び顕微鏡下でカビの生育は認められない。
1	カビの生育は肉眼では認められないが、顕微鏡下では認められる。
2	カビの生育は肉眼で認められるが、試料面積の25%を超えない。
3	カビの生育は肉眼で認められ、試料面積の25~50%の範囲。
4	カビの生育は肉眼で認められ、試料面積の50~100%の範囲。
5	菌糸の生育は激しく、試料全体を覆っている。

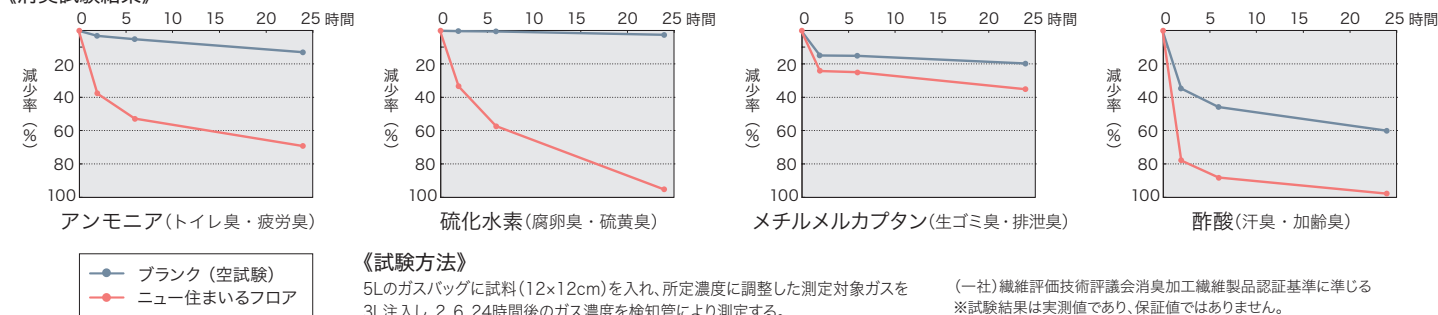
肉眼でカビの生育が認められない、評価基準0または1で防カビ性能があることを示す。



消臭性能

植物由来の消臭剤で気になる臭いを消臭します。

《消臭試験結果》



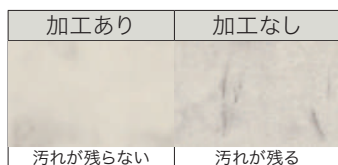
防汚性能

表面のコーティングにより汚れの付着や変色を軽減します。

ヒールマークテスト

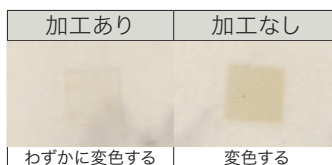
(JIS K 3920に準じる)

2500回転を行い、水拭き後の状態を比較



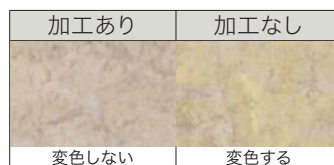
ゴム汚染テスト

黒い天然ゴムを静置し、2kg荷重で48時間70°Cで加熱後の状態を比較



広告移行テスト

チラシ広告を静置し、72時間70°Cで加熱後アルコールで拭き取った状態を比較

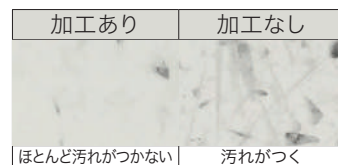


防汚巾木

ヒールマークテスト

(JIS K 3920に準じる)

1800回転を行った状態を比較



変色を完全に防ぐわけではないので、汚れが付着したら速やかに中性洗剤で拭き取ってください。変色の原因となる物に直接触れないようにしてください。



耐次亜塩素酸

次亜塩素酸ナトリウムなどの消毒剤を使用しても変色や変質を起こしにくいです。

《試験結果》



《試験方法》

1%濃度の次亜塩素酸ナトリウムを付着させ、24時間後に乾いた布で拭き取った状態を確認する。

変色や変質は認められませんでした。